

日・アフリカ農業イノベーションセンター (AFICAT) 構想 概要説明

AFICATとは：

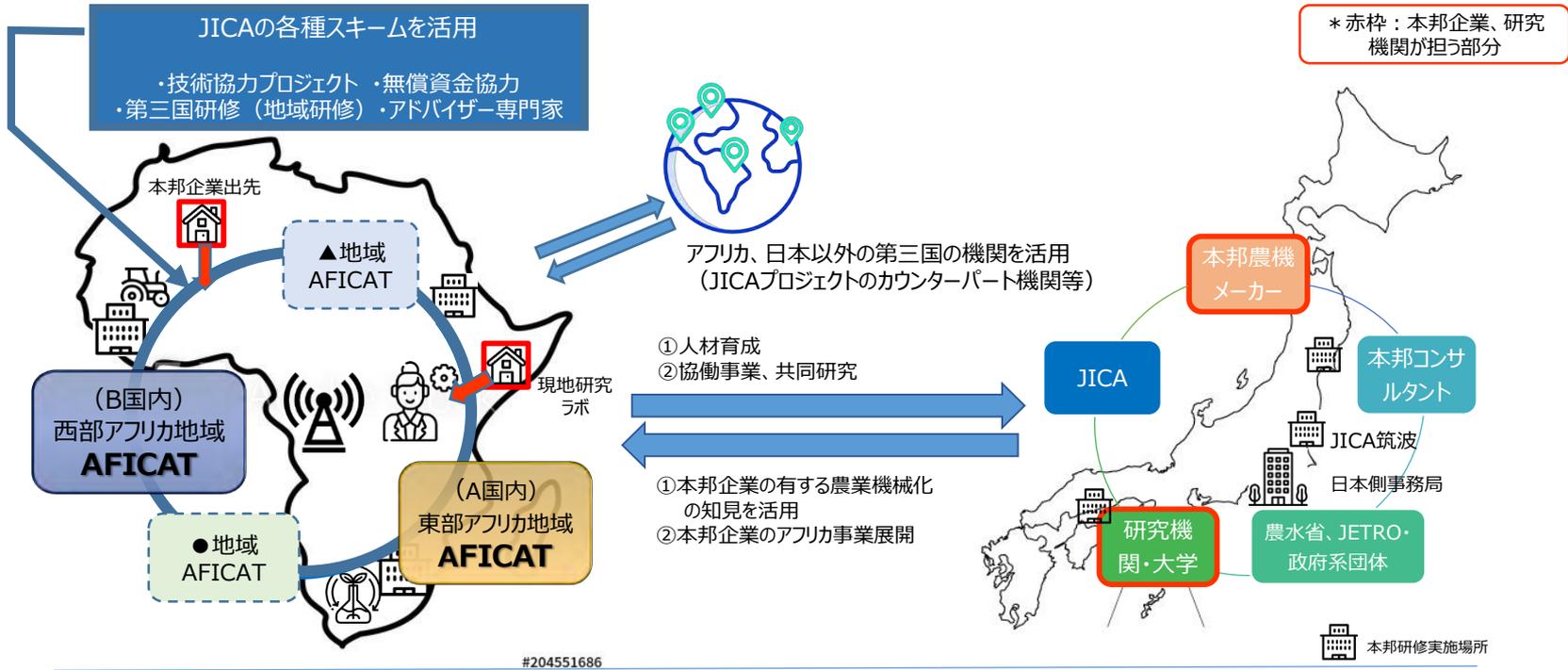
Africa Field Innovation Center for Agricultural Technology

- ◆「アフリカ農業イノベーション・プラットフォーム構想」における優先アクションの一つである、「先進農業技術の導入促進」を実現するためのサブサハラアフリカにおける拠点（機能）
- ◆民と官の共同事業

AFICATの目的：

- ◆本邦企業の対象国への事業展開・進出のための支援活動を積極的に推進
 - ◆質の高い本邦企業の技術・製品の有用性と活用を通じた当該国農業の機械化を推進し、延いては当該国の農業分野の課題の解決を図る
- CARD（アフリカ稲作振興のための共同体）の目標達成に資することも期待

先進農業技術活用推進のイメージ（将来）



AFICATの7つの活動内容（案）

- ① 広域政策アドバイザー
- ② 製品等の展示・実証
- ③ デモ地区圃場整備
- ④ 収穫後処理施設デモ
- ⑤ イノベーションラボ化
- ⑥ トータルコストの検証
- ⑦ 人材育成の拠点

本邦企業の期待 （過去の聞き取りから）

- a. 連携合意文書など相手側との取り決め締結支援
- b. 適切なパートナー（特約店／代理店）探し
- c. 当該国における当該分野に関する情報提供
- d. 現地企業とのマッチングあるいは現地企業の育成
- e. 当該国での本邦農機の認知度の向上

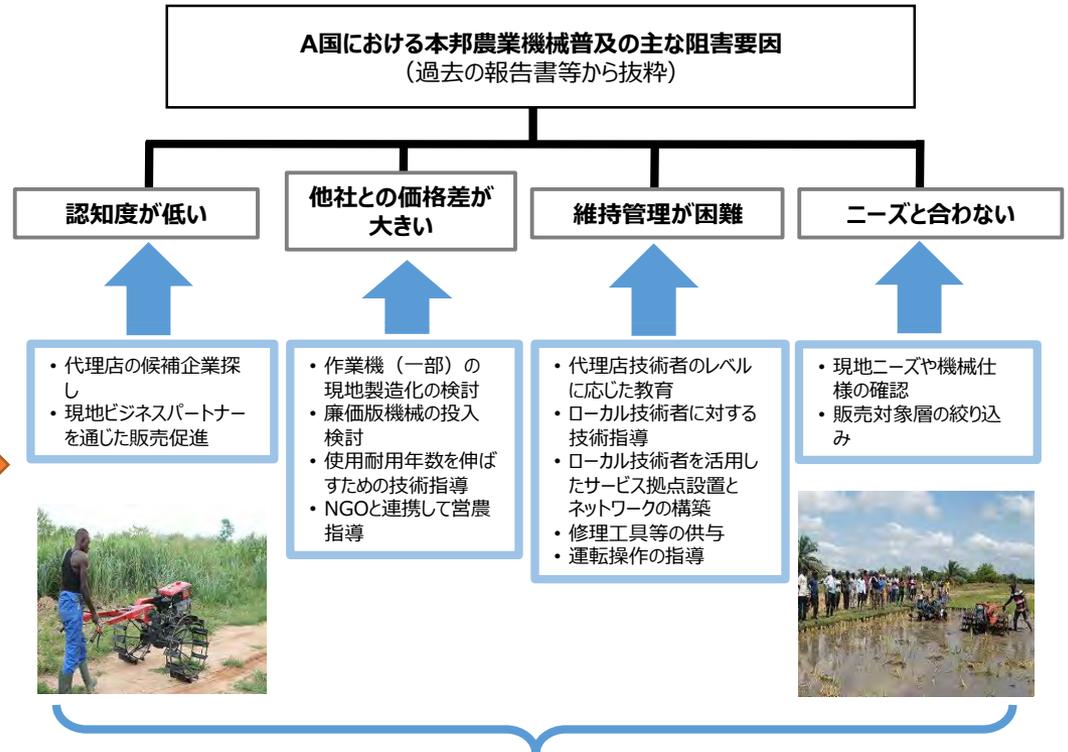
JICAによる支援メニュー（案）

◆ **AFICAT**
（現在調査を通じて検討中）

JICAの他支援スキームとの連携

- 本邦招聘事業
- 課題別・国別研修
- **中小企業・SDGsビジネス支援事業**
- 有償・無償資金協力
- 技術協力プロジェクトとの連携

過去のJICA民間連携事業活用の例



現地での確認・検討を踏まえ、現地ビジネス展開の次ステップへ移行中